

# 生態園の「夏」を発見

日時：令和4年7月27日（水）10:00~14:50

場所：千葉県立中央博物館講堂 参加者：11名

講師：千葉県立中央博物館 林浩二先生 宮川尚子先生



興味をもったものを撮影して  
写真1枚を発表しよう！！

植物にする？それとも昆虫？

講師の林先生

生態園で観察対象を探します



こんなに高いところに…



この小さなセミの  
抜け殻は何？

マイベストショットが撮れたかな？

どれにするの？

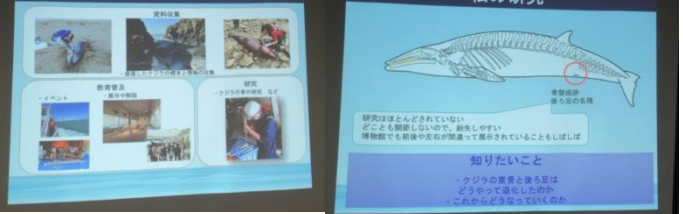
先生のPCに写真を  
取り込みます

宮川先生

宮川先生からは、研究員になるまでのこれまでの経緯  
や研究している鯨についての講義がありました。

普段博物館でやっていること

私の研究



触覚を見ると…

自分の写真を説明します

驚いたこと、感じたこと、考察などを発表しました

それはすごい着眼点だね！

## 【受講生の感想】

- 普段植物や動物をじっくり見る機会が無いので、参加してみて先生のお話を聞いたり、友達と感想を話し合ったりしながら観察をすることができて楽しかった。鯨の研究のお話もおもしろく、改めて生物って奥が深いな、と思った。将来について考えるきっかけにもなった。
- 普段、家族や友達と博物館や生態園に行くと大きい木や景色などに注目してしまうのですが、今回はテーマがあり写真を提出するとなっていたので、葉を1枚1枚観察したり、地面のアリについて考えてみたりと細かい所に焦点を当てる良い機会となりました。
- 夏の生物達の様子を、直接手にとって近くで見ることができて新鮮でした。元々私は虫があまり得意ではなく、姿を見ると逃げ出してしまう程だったのですが、実際に近くで見たことで、新しく感じるものがありました。今では「虫は嫌い」という先入観を消して、虫と向きあえる気がしました。
- 実際に生態園を歩いて色々な生き物を観察して疑問を見つけることができたので勉強になりました。また、同じ場所を歩いたのに、友達と異なる疑問がたくさんだったので、他の人の視点を知るといい経験でした。
- 生態園だけでなく、特別展の鯨の説明も、とてもおもしろかったです。今まで知らなかったことを色々と知れて、新しいことにまた挑戦しようと思いました。